

安全安心 まちづくり

みんなで始めよう!
犯罪のない
安全安心まちづくり

ニュース

2020年度
第3号



高知県犯罪のない安全安心
まちづくりシンボルマーク

航空機から特殊詐欺被害防止を呼び掛け



警察用航空機「くろしお」



スピーカー部分

高知県内において特殊詐欺の被害が増加しており、今年には既に前年の被害額を4,000万円も上回っている状況です(令和2年7月末現在)。

県内では、受け子が直接、キャッシュカードを受け取りにくるキャッシュカード手交型の特殊詐欺が連続発生しており、今後も被害が頻発することが懸念されています。

この手口は、詐欺グループが被害者にアポ電(詐欺グループが銀行員等になりすましてかけてくる電話)をかけた後、言葉巧みに通話状態のままにさせたくて、近くに待機していた受け子が被害者の家へキャッシュカードを受け取りにくるものです。特徴としては、犯行が比較的短時間で終わる、金融機関職員などの第三

者が介在しない、そして、特定の地域で被害が連続発生しやすいことがあげられます。高知県警では、今年の8月上旬からアポ電が集中する地域にヘリコプターを飛ばし、上空を旋回しながら、スピーカーを通して音声で注意喚起するという啓発活動を開始しました。ヘリコプターは、高知龍馬空港を離陸してから室戸上空まで約15分、足摺上空まで約35分もあれば到着しますので、対象の地区において素早い注意喚起が期待できます。

ヤクルト販売で詐欺防止啓発

高知南署は、8月18日、戸別販売をするヤクルト販売員さんらに特殊詐欺被害防止を呼び掛けてもらおうと、高知ヤクルト販売に防犯啓発グッズを届けて、協力を依頼しました。桂浜サービスセンターに対し、マスク300枚や「STOP!! 特殊詐欺」と書かれたシール300枚、広報用名札やチラシが届けられ、普段の見守り活動に合わせた、特殊詐欺防止啓発活動をお願いしました。



啓発グッズ手渡しの様子

墓参りの高齢者に啓発活動

9月19日、彼岸入りに合わせて高知南署は、高知市長浜の太平洋霊園にて、墓参りに訪れた高齢者などに対して、特殊詐欺被害や交通事故の現状を伝えるとともに、広報啓発グッズを手渡しました。普段から事件事故について考えていただきたいと考え、広報啓発グッズには、ティッシュペーパーやトイレトペーパーなど、日常用品に防犯標語を入れたものを同封しました。



啓発活動の様子